Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/08/19

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.62	-0.49
JPY/THB	0.2345	-0.0006
USD/JPY	147.63	-1.65
EUR/THB	38.21	-0.33
EUR/USD	1.1027	0.0055
USD/CNH	7.163	-0.016
SGD/THB	26.31	-0.23
AUD/THB	23.09	-0.12
USD/INR	83.95	0.00
USD Index	102.46	-0.51

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,498.6	45.5
WTI (Oil)	76.65	-1.51
Copper	9,115.5	-33.0

Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,303.00	13.16
NIKKEI (JP)	38,062.67	1336.03
DOW (US)	40,659.76	96.70
S&P500 (US)	5,554.25	11.03
SHCOMP (CN	2,879.43	2.07
DAX(GER)	18,322.40	139.16

Bond

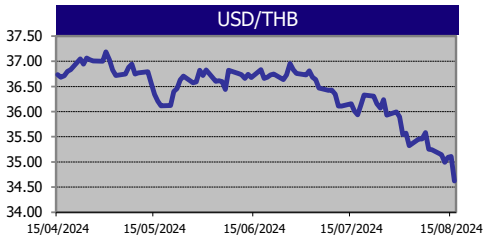
	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.286	0.004
10Y (THB)	2.554	-0.004
5Y (USD)	3.757	-0.032
10Y (USD)	3.883	-0.031

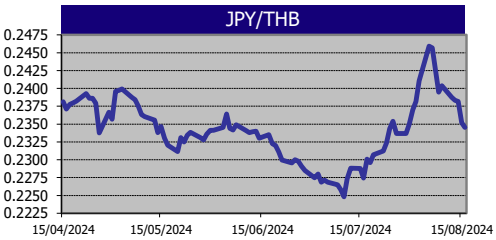
Fund Flow (Overseas Investors)

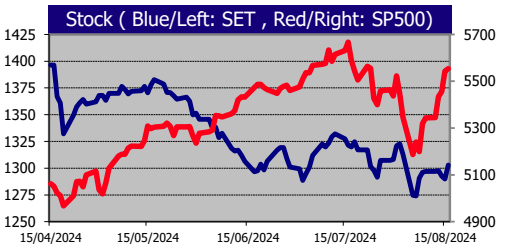
	Close	CHANGE
Stock net flow	335	850.3
Bond net flow	(2,587)	6245.0

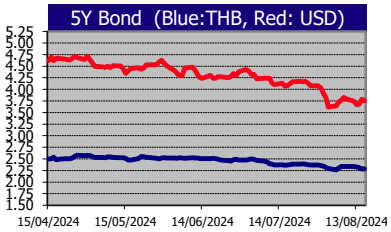
*compared with previous day

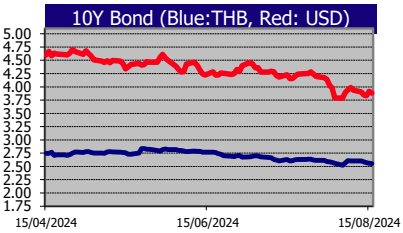
(Source: Bloomberg)

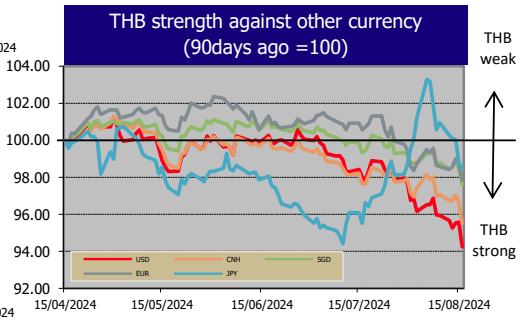


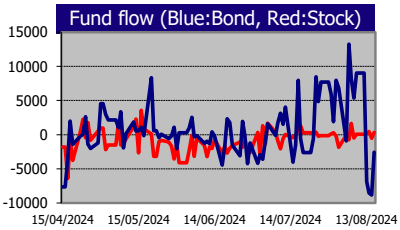


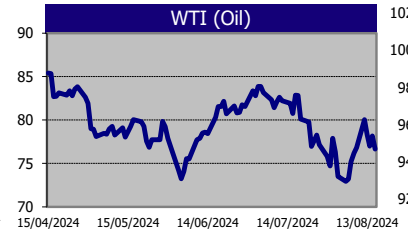












Yesterday's market summary

●ドルバーツ

16日(金)のドルバーツは下落。バンコック時間では米金利の低下に伴い、ドルが売られた場面はあったが、新首相選出のイベントが通過し、タイSET指数が堅調に推移するのを横目にドルバーツは総じて35バーツちょうどから前半付近での推移となった。海外時間に入ると米長期金利の続落や米住宅着工件数の予想を下回る結果を受け、ドルバーツは34バーツ台後半までじりじり下落。その後、ミシガン大学消費者信頼感指数と米1年後・5～10年後のインフレ期待がいずれも予想を上回ったことを受けて反発したが、勢いは続かず、直ぐに下落に転じ、結局34.62レベルでクローズ。

●ドル円その他

16日(金)のドル円は下落。149円台前半でスタート。東京時間では前日の堅調な米経済指標を受けた流れが継続し、ドル円は総じて高値圏で推移したが、米金利が低下する中でやや上値の重さも意識され、結局149円を割り込んだ水準で海外時間へ渡った。欧州時間では米長期金利の続落に加え、週末を前にポジション調整と見られる動きが入り、クロス円主導でドル円は148円ちょうど付近まで下落。NY時間朝方に米住宅着工件数が低調な結果と発表されると、ドル売りが加速し、ドル円は147円台後半まで下落幅を拡大させた。その後発表されたミシガン大学消費者信頼感指数と米1年後・5～10年後のインフレ期待がいずれも予想を上回ったことから、148円台前半まで反発するも、引けにかけて米金利の低下に伴いドル円は再び147円台後半の水準まで下落し、そのまま147.63レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

8月16日にタイ貢献党ペートンタン党首(タクシン元首相の次女)が新首相に選出された。懸念されていた連立政権内の分断は起こらなかったが、ヘッドラインを受けてドルバーツの相場は大きく変わらなかった。昨年5月に実施された総選挙後に新政権が発足するまで3ヶ月以上かかったことで予算執行が遅れ、経済が停滞する一因となったため、今後も新政権樹立に時間を要することが見込まれ、政局不安が長引くことの経済への影響が懸念される。また、今回タイ憲法裁判所は「論理」という曖昧な理由で前首相を解任できたため、投資家心理を冷やす要因の一つと見られる。解任が報道された翌日にアジア株が総じて上昇した中でタイSET指数の下落が目立った。外需面では、8月15日に発表された中国の7月鉱工業生産(前年比)等が冴えない結果となった。タイ最大の輸出相手であるとともに外国人観光客割合最も多い国であるため、中国経済の足踏み状態が継続すると、外需を取り巻く環境の不透明感の高まりもバーツの重荷になると考える。(Li)

The report is prepared for the sole purpose of information only.It is not an invitaion to trade.The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.